

## 生活関連物資定期調査の結果について

生活関連物資14品目（石油製品4品目、農林水産物資10品目）について、12月5日～9日に価格・需給状況を調査しましたが、その結果については以下のとおりです。

## 1 価格動向

## ① 石油製品

(単位：円（消費税込み）)

品目名	規格・容量	店舗形態	今回調査の平均価格	前回調査(8月)の平均価格	対前回比(%)	前年同月の平均価格	対前年比(%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	142	151	▲6.0	132	7.6
		セルフ	139	148	▲6.1	129	7.8
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	122	130	▲6.2	113	8.0
		セルフ	118	128	▲7.8	109	8.3
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,531	1,638	▲6.5	1,363	12.3
		セルフ	1,503	1,610	▲6.6	1,340	12.2
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,693	1,767	▲4.2	1,485	14.0
LPガス	一般家庭用、基本料金及び10m <sup>3</sup> を使用した料金	一般店舗	7,768	7,501	3.6	7,388	5.1

## ② 農林水産物資

品目名	規格	今回調査の平均価格	前回調査(8月)の平均価格	対前回比(%)	前年同月の平均価格	対前年比(%)
うるち米	県内産、精米、コシヒカリ、5kg	2,166	2,080	4.1	2,136	1.4
牛肉	ロース 100g	315	296	6.4	355	▲11.3
豚肉	ロース 100g	181	189	▲4.2	188	▲3.7
鶏肉	ブロイラー、もも肉、100g	114	113	0.9	118	▲3.4
まぐろ	赤身(生)、切り身(刺身用)、「めばち」又は「きはだ」100g	376	393	▲4.3	432	▲13.0
キャベツ	中サイズ 1個	117	133	▲12.0	216	▲45.8
ほうれんそう	1束	92	184	▲50.0	128	▲28.1
ねぎ	中サイズ 1本	40	60	▲33.3	48	▲16.7
だいこん	中サイズ 1本	105	156	▲32.7	121	▲13.2
たまねぎ	中サイズ 1個	48	39	23.1	52	▲7.7

## 2 結果の概要

### 【石油製品】

- ・原油価格の下落等により、前回調査（平成23年8月）と比較して、「ガソリン」が対前回は9円安（▲6.0円）、「軽油」が8円安（▲6.2%）、「灯油」が107円（1リットルあたり5.9円）安（▲6.5%）と値下がりした。
- ・「LPガス」は、対前回は267円高（3.6%）と値上がりした。
- ・10月以降、原油価格は上昇基調にあることから、海外原油市場の動向と併せ、石油製品の価格・需給動向を引き続き注視していく。

### 【農林水産物資】

- ・「うるち米」が対前回は86円高（4.1%）、「牛肉」が19円高（6.4%）、「鶏肉」が1円高（0.9%）と値上がりした。
- ・「豚肉」は対前回は8円安（▲4.2%）、「まぐろ」は17円安（▲4.3%）と値下がりした。
- ・野菜は、「たまねぎ」が対前回は9円高（23.1%）と値上がりしたものの、その他の品目（「キャベツ」「ほうれんそう」「ねぎ」「だいこん」）は前回調査と比較して16円（▲12.0%）から92円（▲50.0%）の値下がりとなった。

#### 《参考》 今回調査における野菜の出回り状況

キャベツ：主に千葉県、福島県産

ほうれんそう：主に福島県、群馬県産

ねぎ：主に福島県、茨城県産

だいこん：主に千葉県、福島県産

たまねぎ：主に北海道産

## 3 年末年始における価格・需給動向

上記調査と併せて、14の事業者（卸売市場、関係業界）を対象に生活関連物資の価格・需給の現況と年末年始における見通しについて調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです。

### 【概況】

- ・いずれの品目も供給に問題はないものの、一部の品目の小売価格については下記のとおりの変化が見込まれる。

### 【石油製品】

- ・「ガソリン」「軽油」「灯油」「LPガス」のいずれの品目も安定した供給が確保されるが、直近の原油価格が上昇基調にある中、特に「灯油」については今後の寒気の強まり次第では小売価格の上昇が見込まれる。

### 【農林水産物資】

- ・「うるち米」は供給量は十分であるものの、震災以降、卸価格が高値で続いているため、小売価格は平年を上回ると見込まれる。
- ・畜産物は供給量・小売価格ともに概ね平年並みであるものの、景気低迷や震災の影響により「牛肉」の小売価格は平年を下回ると見込まれる。
- ・「まぐろ」は入荷量が年々減少しているため、小売価格は平年をやや上回ると見込まれる。
- ・野菜は全般的に生育良好で平年を上回る入荷量であるため、小売価格は平年を下回ると見込まれる。

#### 【生活関連物資定期調査の調査方法等について】

##### ①調査方法

県内7地方振興局において、調査期間中に原則、調査店舗に出向き、当該店舗において表示価格の確認及び聞き取りにより価格を調査する。

##### ②調査の時期：

四半期に1回の調査とし、調査時期は、5、8、12、2月とする。

##### ③対象店舗数：

非定店舗35店舗（各地方振興局5店舗）

○「石油製品」については、調査店舗の内訳を下記のとおりとする。

ガソリン：一般店舗3、セルフスタンド2、軽油：一般店舗3、セルフスタンド2

灯油（店頭）：一般店舗3、セルフスタンド2、灯油（配達）：一般店舗5

LPガス：一般店舗5

○「農林水産物資」については、原則として、35店舗とする。

※ 年末年始における需要増大等により生活関連物資の価格・需給状況に変化が見込まれることから、12月調査では、通常の調査（上記調査）と併せて、14の事業者（卸売市場、関係業界）に対して書面調査を実施した。

各店舗で販売されている福島県産の農林水産物は、いずれも安全性が確認されたものです。

～ がんばろう ふくしま！ 福島県の農林水産業を応援しましょう！ ～

